

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第7週（令和4年2月14日～令和4年2月20日）

福岡県感染症情報センター

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	6	84	145	1,334
腸管出血性大腸菌感染症	1	10	7	91
ウイルス性肝炎	1	3	1	18
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	7	9	131
後天性免疫不全症候群	2	14	5	90
梅毒	8	37	83	938


※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

■ 定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	3	0.02	3.00	37	0.01
RSウイルス感染症	98	0.82	0.64	824	0.26
咽頭結膜熱	19	0.16	0.63	409	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	117	0.98	0.91	997	0.32
感染性胃腸炎	753	6.28	0.98	14,269	4.55
水痘	12	0.10	0.60	180	0.06
手足口病	6	0.05	1.20	422	0.13
伝染性紅斑	1	0.01	1.00	38	0.01
突発性発しん	37	0.31	0.73	716	0.23
ヘルパンギーナ	1	0.01	-	69	0.02
流行性耳下腺炎	4	0.03	4.00	54	0.02
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	1	0.00
流行性角結膜炎	0	0.00	0.00	83	0.12
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	6	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	4	0.01
マイコプラズマ肺炎	1	0.07	-	4	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	3	0.01

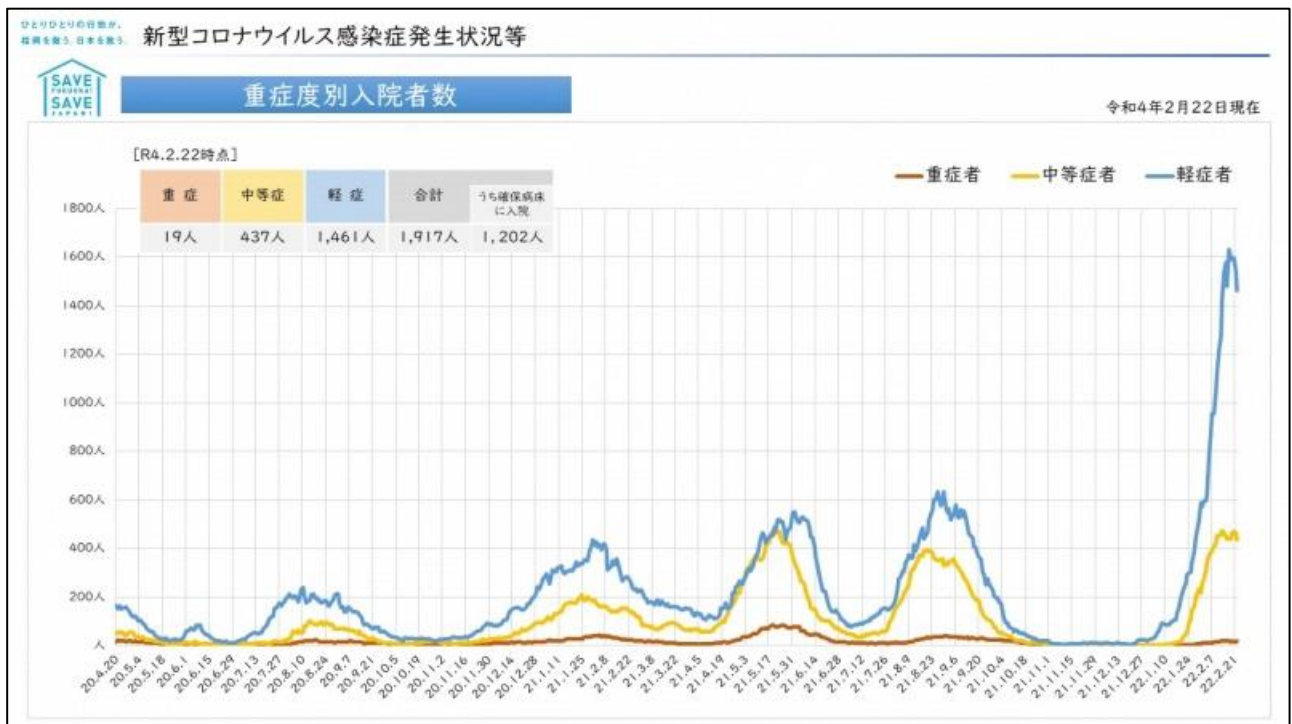
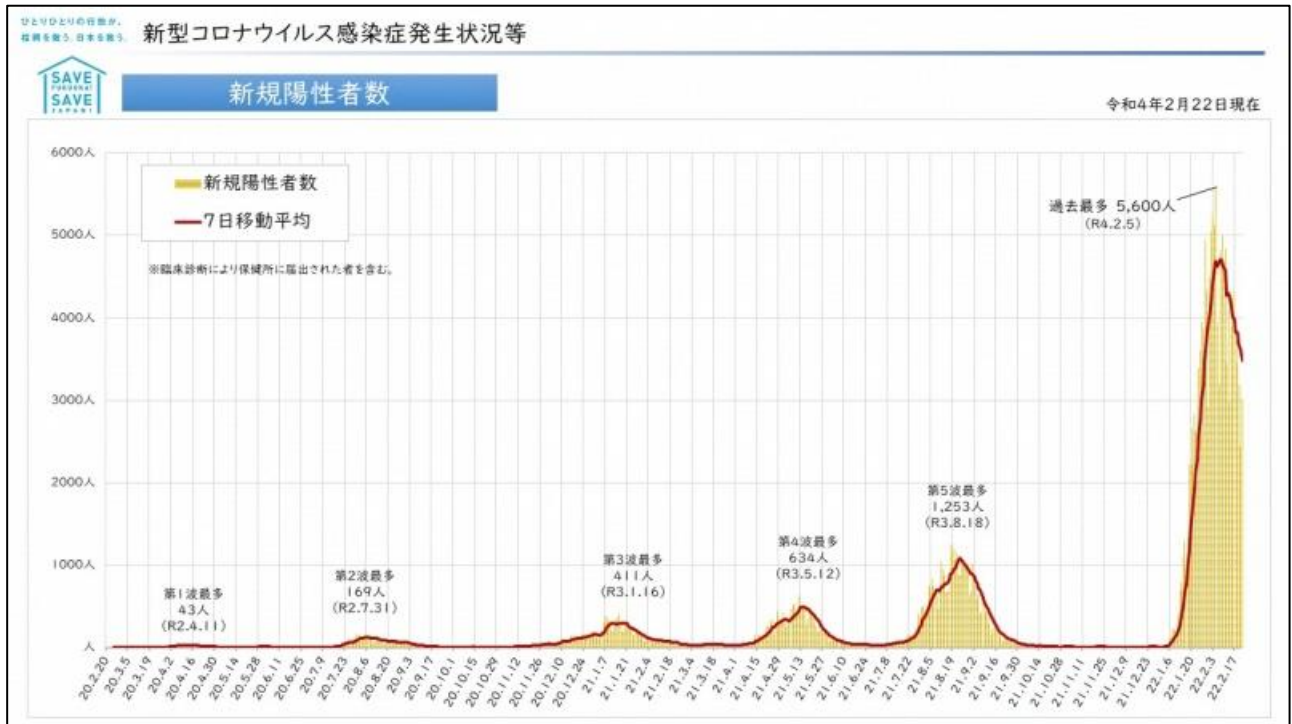
■ コメント

 : 警報レベル

 : 注意報レベル

- ・今週は後天性免疫不全症候群（エイズ）の報告が2件ありました。エイズはヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染して起こる病気です。HIVは感染力が弱く、日常生活においても、周りの人が感染することはまずありません。HIVに感染しても、すぐにエイズを発症するわけではありません。自覚症状のないまま数年が経過し、その間に免疫力が徐々に低下し、体の抵抗力がなくなりエイズを発症します。そのため、HIV検査で感染の有無を確認することが大切です。感染しても、医療の進歩により、エイズの発症を予防したり、遅らせることができるようになっていきます。心配な場合は、最寄りの保健所に御相談ください。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>